

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	エンデラン大学(3 週間)
-----	---------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	30000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 徒歩5 分)
教養娯楽費	2300 円	
被服費	2700 円	
雑費	2700 円	
その他	10000 円	例:お土産など
合計	52700 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 日本で両替 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 大きなモール以外では現金しか使えないところがほとんどだったので、現地で両替するための日本円はいくらか持っていくべきと思った。またクレジットカードで海外引き出しが可能であるかを事前に確認しておいた方がよい。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 日本で eSIM を購入した。渡航前に設定できるため到着してからすぐに使えた。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか 飲みなれた風邪薬とのど飴は滞在中に風邪を引いたときに役に立った。一日の内に天気が変わることがあるので、折り畳み傘を持って行って良かった。日本食は少し持っていったが、ほとんど食べなかった。学校やモール内はエアコンがかなり効いているため、長袖の羽織りを複数枚持っていくのがおすすめ。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: 寮のマネージャー) 特記事項: 洗濯物の返却の際にシャツに一部ダメージがあったが、寮のマネージャーに連絡して弁償していただいた。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 事前に配られる留学のしおりや参考資料のマップを見て危険地域を把握していた。またスマホを首から下げたり、カバンを開けっ放しにしないよう心がけていた。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 学校内の Wi-Fi は不自由なく使えたが、寮の部屋の中ではほとんど繋がらなかった。階によって差がある。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) シャワーの水圧が弱く、冷水しか出ない部屋もある。また部屋で小さいゴキブリを一回見かけた。心配であれば日本からスプレーなど持ってくることをお勧めする。エアコンから小さい虫が出てくることがあったが寮のマネージャーに連絡して、殺虫剤をもらった。4人で生活するには狭い部屋だったが、その分ルームメイトと仲良くなれた。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 一対一の授業では発音のトレーニングが多く、会話重視の実践的な内容であったのが良かった。使用するテキストのレベルは初日のテスト結果によるものと思うが、自分のレベルと違うなと感じるのであればテキストを変えてもらうことができる。先生には少なからず当たりはずれがあるがどうしても変更しなければ可能だと思う。 特に一対一の授業は4時間あるので長いとは思ったが、先生が優しく、楽しく授業を進めてくれるので苦ではなかった。グループ授業は当てられたら発言する形式で、ディスカッションなどはなかった。
2)課外プログラムについて 三週目の土曜日に行われたバスツアーで、マニラ市内の歴史的建造物などを見学した。スペイン統治時代の洋風な建物や聖堂にも訪れた。
3)現地での生活に関すること 寮近くのベニスモールは規模の大きいモールで基本的に何でもそろそろ。ベニスモールやBGCなどに日本食のレストランが多くあったが、個人的にはフィリピン料理が美味しかったため過度に日本からご飯を持っていく必要はないかも。ただ節約したいのであればアリ。Grab は日本で事前に設定しておいた方が使うときにスムーズ。前述したように洗濯物がダメージを受ける経験があったので、最悪破けてもよい服をメインに持っていくことを強く勧める。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 特になし
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 特になし

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 ・トイレに紙を流してはいけないこと ・フードコートなどでトレーをテーブルの上にそのまま置いておくこと ・箸ではなくフォークとスプーンを使って食べること ・常になんだか甘い匂いがすること ・大きなお礼は受け取ってくれないこと

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外でしたが、グループ渡航だったことや寮などで心配せず生活することができた。 ためらわずに、積極的に会話することができるようになったが、英語力が劇的に伸びたかと言われるとそうでもない感覚もあるので、実際三週間は短いかなとも感じた。 今後は留学で学んだ英語を衰えさせないように勉強を継続していきたいと思った。 フィリピンと聞くと治安が、と思うかもしれないが、寮や学校近くはマニラの中でもかなり栄えている地域で、施設もとても綺麗なので心配しすぎないでほしい。充実した留学生活で、最終週には「帰りたい！」と思うほどだった。留学に行きたいけれど海外が不安という方に特におすすめしたいプログラム。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	エンデラン大学(派遣 3 週間)2025 年春季
-----	--------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 23000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	13700 円	トリファの無制限プラン
現地通学費	円	(研修先まで 8 分)
教養娯楽費	約2600 円	水族館
被服費	約3700 円	帽子、サングラス、Tシャツなど
雑費	約4100 円	Grab でかかった交通費など
その他	約13000 円	お土産代
合計	約58000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

基本はカード払いで、カードが使えないところ(学食や寮の隣のコンビニなど)では現金を使用した。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

トリファの無制限プラン
 よくスマホを使うので無制限プランにしてもらいました。アプリから簡単にできるのでおすすめです。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

【日本から準備して行き助かったもの】

- ・2mの充電ケーブル(延長コードをみんなで買ったが普通のものでは枕元に届かなかったから)
- ・ドライヤー
- ・バスマット
- ・水筒(ウォーターサーバー使えるから)
- ・上着 2 枚(エアコンが寒いから)
- ・日傘
- ・ソフトパッキティッシュ×2(トイレの紙や生活用品として必要だったから)
- ・サプリメント(野菜のメニューが少ないから)
- ・日本食(節約したいときに助かったから)
- ・ウェットティッシュ
- ・お風呂場に持っていける袋(引っ掛けるところがお風呂場にあるのでタオルや下着類をいれてそれを吊り下げていた)
- ・スプリングキーホルダー(財布の盗難対策に使えたから)
- ・洗濯ロープ(タオルを干すのに必要だったから)
- ・部屋用スリッパ

【準備したほうが良かったもの】

- ・サングラス(日差しが眩しかったから)
- ・小さいメモ帳(その日使ったお金をまとめたり日記を書いたりするのに必要だったから)
- ・電子辞書
- ・荷物測り(キャリーケースの重さを知るのに必要で友達に借りた)

【持っていく必要がなかったもの】

- ・洗濯ネット
- ・ハンガー(部屋にたくさんあったから)
- ・日数分のマスク(そこまで出番がなかったから。乾燥が気になる人は持っていても○)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり（問題の内容や相談した人等： ） 特記事項：
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
事前に危険エリアの説明があったのでそのエリアを避けて出かけた。 カバンは常に前にして、スマホは紐をつけて首からかけて使用した。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学の Wi-Fi は使えるが、寮の Wi-Fi はないものとしていた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 感想：(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
4 階の部屋だったので、虫被害はなかったです。シャワーもお湯がちゃんと使えました。一方、1 階の部屋には、G ができたりお湯が弱かったりしていたみたいなので、4 階以上の部屋なら当たりだと思って良いと思います(3 階は共有スペースで G を見たことがあります)。私の部屋は最初 3 人部屋だったのですが、2 日目から個人で来た日本人の留学生の子が追加で入ってきたので、3 人部屋に割り振られてもそのようになる可能性は大いにあります。 また、私は最初友だちができるかとても不安でした。しかし、学部、学年、性別関係なしにみんな優しい人たちですすぐに打ち解けることができたので、その辺の心配はいらないと思います。授業に関しても、7 時間も耐えられるのか不安だと思いますが、意外とあっという間に終わります。つまり、伝えたいことは、一切不安がらなくて大丈夫だということです。もちろん、盗難対策などは緊張感を持つべきですが。 アドバイスとしては、事前に英語の勉強を少しでもやっていた方が良いと思います。耳を慣らしたり文法や単語をちょっとやってみたりするだけでも、留学で得られるものが多くなるので、勉強しておいて損はないです。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
【良かった点】 マンツーマンの先生がとても優しく、どんな些細な質問でも分かりやすく教えてくれます。先生によって授業スタイルは異なりますが、私の先生はテキストに則りながらも、先生が持ってきた英語の本を読んだり洋楽を歌ったり、楽しく英語の発音を教えてくれました。また、スピーキングに重きが置かれているので、とにかくしゃべります。そのため、授業を重ねるにつれて、スピーキング力とリスニング力が勝手に伸びます。最初はいわゆる日本語英語の発音でしたが、正しい発音を学んでそれを実践することでより成長できたように思います。また、私は留学終わりにみんなの前でスピーチする機会がありましたが、これまで学んだこと全てを発揮できたのでスピーチできて良かったです。 【良くなかった点】 特に不満はないが、やはり寮なので部屋の中では日本語になってしまうのはもったいないと思います。
2) 課外プログラムについて
2 週目の土曜日に Field Trip がありました。博物館やマニラ大聖堂などを見られるのでフィリピンの歴史を学べます。1 日中歩いたので疲れましたが、とても良い経験になりました。
3) 現地での生活に関すること
フィリピンのトイレは紙を流せません。また、トイレの個室に紙がない場合が多いので、外に出る時は常にティッシュを持っていくようにしました。また、移動のときは Grab を利用しました。Grab に関して、私の場合、現地で電話番号がなくクレジットカード登録のときに電話番号認証ができなかったため、使えなかったです。したがって、日本にいたうちにカードを登録しておくことを強く勧めます。寮に関しては、洗濯が返却されるとき、透明な袋に詰められるので下着が丸出しなことがよくあります。大体 3 日後くらいには返ってくるので、見られたくない人は早めに取りに行くことをお勧めします。他は、道路を渡るときはビビらないことです。中途半端にビビっていると車からクラクションを鳴らされるので、道路を渡るときはババッと行ったほうが良いです。

交流等について
1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業内でインタビューをする機会がありました。日本人以外にも韓国や台湾の人たちもいました。逆に、インタビューされることもありました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
体育館で現地学生の人とバスケットをしました。友だちは現地の女子フットボール部の人たちと一緒にフットボールもしたそうです。現地の人たちはフレンドリーな人が多いので、たくさん声をかければ国際交流の輪も広がると思います。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
フィリピンの人たちの運転はとてもせっかちだと思いました。どの車も隙間があればすぐに割り込むので車間距離はないに等しいです。バイクもたくさん走っています。そのため、空気が常に臭く、クラクションをすぐに鳴らすのでとてもうるさいです。 他に日本と異なると感じたのは、接客態度です。フィリピンで働いている人々はスマホを見たりご飯を食べたりしていて、客が来たらかろうじて接客するという感じだったので、日本では見られない光景だと思いました。 あとは、フィリピン人はみんなセルフィーがとても好きだと思いました。どこに行っても絶対誰かしら写真を撮っています。ビデオ通話も同様です。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外かつ留学で最初はなんで応募してしまったのだろと思っていましたが、留学を終えた今はこのプロジェクトに参加して本当によかったと思っています。一度もホームシックになりませんでした。参加した理由は、「大学生のうちに留学しないとなんかヤバそう」という極めて単純なものでした。そんな私でも多くのものが得られたので、目標が曖昧でも気にする必要はないです。しかし、3週間というのは想像の何倍も短いので少し物足りなさがありますが、寮生活であることから、初心者コースとしては最適だと思います。7時間という授業時間が不安な人もいると思いますが、体感時間はそれよりも短く、逆に7時間がベストな時間だと感じました。また、3週間で英語は伸びるのかということに関しては、正直、急激な伸びはないです。発音を学んだからと言って、すぐにはマスターできません。ただ、英語に対する抵抗感はなくなります。最初と最後に確認テストをしたのですが、中にはスコアが下がった人もいました。しかし、スコアが下がる＝英語のスキルが下がっているでは決してないです。大事なものは、授業で学んだことを自分のものにするように努めることです。結果よりも過程が重要だということです。 私は今後、この留学を通して今の自分の英語スキルに何が足りないのか把握できたので、その勉強をしたいと思っています。勉強面以外でも、留学で出会ったみんなとの縁も大事にしたいです。 また、お土産はお菓子だけでなくフィリピン料理に関わるものも多めに買ったほうが良いと思います。フィリピン料理の素や調味料などのことです。大量にお菓子を買すぎてしまい、そのようなものが少しかなかったことを後悔しているので、お菓子ももちろん良いですが、私はフィリピン料理のものを買うことをお勧めします。注意点としては、肉製品は日本に持ち込めないことです。しかし、インスタント麺は大丈夫でしたので、安心してください。 最後に、この留学にきて損は絶対ないです。英語の面以外でもたくさんの思い出ができます。行くことになった人は全力で楽しんでください。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	エンデラン大学3週間
-----	------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	48000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 10 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	3000 円	
雑費	17500 円	お土産
その他	4000 円	例: グラブ
合計	77500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法:
 その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

カードが楽でした。しかし、現金しか使用できない店が結構あるので両方持ち歩くといいです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

eSIM(トリファ) 20Gでぎりぎりでした。寮にWiFiないので、20G以上あった方が使用時間を気にしなくていいと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

助かった: 日本食・サングラス・帽子・茶葉
 持っていけばよかった: 食器用洗剤・ハンドソープ・スリッパ

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

友達の知り合いの知人に話を聞きました。
 盗難や犯罪には巻き込まれませんでした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

インターネットは無事に使えました。
 WiFiもあり、大学では問題なく使用できます。モール内の大学と寮ではWiFiつながりません。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
4人にしては狭いです。きれいではないのでスリッパを持っていくことを進めます。ゴミブリは出ませんでした。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良い:1日7時間勉強できる場所。マンツーマンで親身になって教えてくれる。モールも大学も近くて通いやすい。友達出来る。 良くない:寮にWiFiがないところ。一人時間がない。
2)課外プログラムについて
馬に乗れたり、ピュッフェが食べれてよいところもありましたが、永遠に偉人について解説されてみんな眠そうでした。 他大がいた関係で逆に明治大学内の絆が深まりにくかった。
3)現地での生活に関すること
みんないい人で楽しい。陽気。明治の絆も深まって楽しかった。モールのご飯は基本美味しいです。しかし、野菜がないのでビタミンや青汁等を持っていくとよいと思います。日本食もマスト。私たちの部屋では生活用水に水道水を使用しました。特に体調が悪くなることはなかったです。飲むのはやめた方がよいと思います。乾季だったのでゴミブリは少なかったです。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
体育館で現地学生と交流しました。あとは、他の留学生と交流。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
現地の学生に体育館の使い方を教えてもらった。少しだけ一緒にバスケット。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
トイレトペーパーは流せない。ティッシュを持ち歩くのはマスト。運転中でもみんな大音量でスマホを見ている。陽気。ご飯はチキンが多い。味が濃いおいしい。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

勉強は基本スピーキングと発音についてなのでテスト向けというよりは、コミュニケーション能力が身に付く感じです。文法や語彙を勉強してから留学に臨んだ方が身に付くと思います。そう簡単に英語力は上がりませんが、英語を話すことへのためらいがなくなったのが良かったです。帰国後も継続して勉強に励みたいと思います。フィリピン生活は刺激的でした。日も強く、みんな陽気で自由な感じでした。少したくましくなれます。また、明治内で絆も深まり最高の友達もできました。とても充実した最高の3週間でした。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	エンデラン大学(派遣 3 週間)2025 年春季
-----	--------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7000 円	
現地通学費	0 円	(研修先まで 5 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	50000 円	
その他	0 円	例:
合計	107000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 寮の近くのショッピングモール内に両替所があるため、そこで現地通貨を得た。 その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください 現金での支払いは少し手間がかかるため、クレジットカードが使える店ではカードを使い、使えない店でのみ現金を使用した。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 フィリピン国内で使える eSIM を購入した。合計30GB分購入した。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか フィリピンのトイレットペーパーは水に流せないものなので、便器の傍のごみ箱にごみを捨てる必要がある。日本製のものは水に溶けるものがほとんどだと思うので持っていくと、トイレで困らない。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 危険地域情報については、学校からの通知やインターネットの情報をもとに集めた。幸い、犯罪に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 現地で使える SIM を持っていれば、問題なく接続することができた。ただし、寮の相部屋では通常 Wi-Fi が使用できなかったため、使い過ぎには注意が必要である。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類 ☒ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 4 人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 冷房が強く、質もあまりよくないため、長袖の服とマスクがあるとよい。部屋によっては扉が壊れやすくなっているため、壊れた場合にはハウスキーパーの方にすぐ相談した方がいい。私の部屋では、3週間の間に風呂とトイレの扉が両方壊れた。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 特に良かったと感じる点は個別授業である。文法・語彙・会話表現などの基礎の学習に加えて、様々な話題について会話する練習ができたため、総合的に英会話の力が付いたと感じられる。対して、集団授業では集団授業ならではのディスカッションの時間をもう少し増やしてほしいと感じている。
2)課外プログラムについて 日本の他大学と合同で交流会を行った。あまり英語学習には関連しなかったが、楽しい時間を過ごせた。
3)現地での生活に関すること 寮の近くには、フィリピンの現地料理の店や飲み屋、日本食の店など、多くの飲食店がある。食事に関しては、あまり困らなかった。トイレや風呂で日本との違いを大きく感じた。私はすぐに慣れたが、人によっては先述したように日本製のトイレットペーパーなどを用意すると良いかもしれない。 また、タクシーが非常に安価なので、移動が楽だった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 あまりプログラム内で現地学生と交流を持てなかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 現地のサッカーチームとサッカーをプレイした。飛び込みでの参加ではあったが良い試合ができた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 日常生活では、先述したようにトイレに日本との違いを感じた。また、現地の料理では酸味の強いスープや塩味と甘味の組み合わせ、紫色の汁などが多くあったが、日本ではあまり味わえない風味で、新鮮な気分を楽しめた。ただし卵料理のバロットだけは受け入れられなかった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

今回の留学を通して、英会話がとても身近なものになったと感じている。3週間という短い期間ではあったが、様々な話題についての英会話、英語でのメール・プレゼンの作成など、多くの事について英語を用いて取り組むため、英会話を怯えずに行うことができた。ただ、英語についての能力が完全になったとは決して言えないので、更なる英語学習を引き続き行っていきたい。このプログラムはこれからの学習のキッカケになってくれるものだと感じている。 学習以外では、様々な場所に行き、とても楽しい時間を過ごすことができた。今回の留学のグループは、全員初対面のメンバーだったが、とても友好的な関係を築けたのではないと思う。観光名所や露店、飲食店や遊園地のような娯楽施設など、安価で様々な場所に行けるため、ぜひ、危険の及ばない範囲で楽しく仲間と過ごしてほしい。 唯一の心残りは、空港にて、用意していたでかい醤油とお気に入りのハサミを没収されたことである。
